

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第4項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成23年11月28日

**【四半期会計期間】** 第111期第2四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

**【会社名】** 昭和ホールディングス株式会社

**【英訳名】** Showa Holdings Co.,Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表執行役社長 重田 衛

**【本店の所在の場所】** 千葉県柏市十余二348番地

**【電話番号】** 04-7131-0181 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 執行役財務総務担当 庄司 友彦

**【最寄りの連絡場所】** 千葉県柏市十余二348番地

**【電話番号】** 04-7131-0181 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 執行役財務総務担当 庄司 友彦

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年11月14日に提出いたしました第111期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）に係る四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

訂正後の四半期連結財務諸表については、監査法人元和により再度四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

なお、四半期連結財務諸表の記載事項に係る訂正箇所についてはXBR Lの訂正も行ったため、併せて訂正後のXBR L形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出しております。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 1 事業等のリスク

##### 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

##### 1 提出会社の代表者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する分析・検討内容

###### (1) 経営成績の分析

###### (2) 財政状態の分析

###### (3) キャッシュ・フローの状況

##### 2 事業等のリスクに記載した重要事象等についての分析・検討内容及び当該重要事象等を解消し、又は改善するための対応策

#### 第4 経理の状況

##### 1 四半期連結財務諸表

###### (1) 四半期連結貸借対照表

###### (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

###### (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

#### 注記事項

##### (セグメント情報等)

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

##### 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

###### (1株当たり情報)

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_を付して表示しております。

## 第一部 【企業情報】

## 第1 【企業の概況】

## 1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次		第110期 第2四半期 連結累計期間	第111期 第2四半期 連結累計期間	第110期
会計期間		自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高	(千円)	1,656,910	2,676,453	3,361,957
経常利益又は経常損失( )	(千円)	593,234	1,726,004	971,684
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失( )	(千円)	596,884	<u>2,995,227</u>	3,260,065
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	594,375	<u>2,851,615</u>	3,259,328
純資産額	(千円)	5,955,871	9,264,863	3,293,363
総資産額	(千円)	8,008,775	14,971,189	5,624,382
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期(当期) 純損失金額( )	(円)	12.83	<u>64.39</u>	70.08
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)		—	
自己資本比率	(%)	73.8	<u>41.3</u>	57.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	337,226	368,996	466,620
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	21,774	880,273	99,297
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	77,996	310,745	155,341
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	249,024	1,075,401	161,361

&lt;表省略&gt;

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第110期、第110期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、四半期(当期)純損失が計上されており、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第111期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 第110期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

(訂正後)

回次	第110期 第2四半期 連結累計期間	第111期 第2四半期 連結累計期間	第110期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	1,656,910	2,676,453	3,361,957
経常利益又は経常損失( ) (千円)	593,234	1,726,004	971,684
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失( ) (千円)	596,884	<u>2,250,017</u>	3,260,065
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	594,375	<u>2,106,405</u>	3,259,328
純資産額 (千円)	5,955,871	9,264,863	3,293,363
総資産額 (千円)	8,008,775	14,971,189	5,624,382
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期(当期) 純損失金額( ) (円)	12.83	<u>48.37</u>	70.08
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)		<u>48.29</u>	
自己資本比率 (%)	73.8	<u>36.3</u>	57.7
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	337,226	368,996	466,620
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	21,774	880,273	99,297
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	77,996	310,745	155,341
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	249,024	1,075,401	161,361

&lt;表省略&gt;

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第110期、第110期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、四半期(当期)純損失が計上されており、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第110期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

(訂正前)

(1)～(4)<省略>

#### (5) 継続企業の前提に関する重要な事項

当社グループは当第2四半期連結累計期間において95,493千円の営業利益、2,995,227千円の四半期純利益を計上したものの、前連結会計年度において547,032千円の営業損失及び3,260,065千円の当期純損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても前連結会計年度まで継続的にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

しかし、「3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況分析 2. 事業等のリスクに記載した重要事象等についての分析・検討内容及び当該重要事象等を解消し、又は改善するための対応策」に記載した諸施策を実行することで、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

(訂正後)

(1)～(4)<省略>

#### (5) 継続企業の前提に関する重要な事項

当社グループは当第2四半期連結累計期間において95,493千円の営業利益、2,250,017千円の四半期純利益を計上したものの、前連結会計年度において547,032千円の営業損失及び3,260,065千円の当期純損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても前連結会計年度まで継続的にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

しかし、「3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況分析 2. 事業等のリスクに記載した重要事象等についての分析・検討内容及び当該重要事象等を解消し、又は改善するための対応策」に記載した諸施策を実行することで、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### 1 提出会社の代表者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する分析・検討内容

##### (1) 経営成績の分析

(訂正前)

<省略>

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比61.5%増の2,676,453千円となりました。損益面におきましては、営業利益は95,493千円（前年同四半期は営業損失227,197千円）となり、新たな連結子会社群が大きく利益を伸長させる結果となりました。また、前連結会計年度において未収入金に対する貸倒引当金繰入処理をいたしました。第1四半期連結会計期間において入金等による貸倒引当金戻入額を営業外収益に計上したことにより、経常利益は1,726,004千円（前年同四半期は経常損失593,234千円）となり、株式会社ウェッジホールディングスの株式を追加取得し、連結対象子会社としたことによる負ののれん発生益を特別利益に計上したことにより、四半期純利益は2,995,227千円（前年同四半期は四半期純損失596,884千円）となりました。

<省略>

(訂正後)

<省略>

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比61.5%増の2,676,453千円となりました。損益面におきましては、営業利益は95,493千円（前年同四半期は営業損失227,197千円）となり、新たな連結子会社群が大きく利益を伸長させる結果となりました。また、前連結会計年度において未収入金に対する貸倒引当金繰入処理をいたしました。第1四半期連結会計期間において入金等による貸倒引当金戻入額を営業外収益に計上したことにより、経常利益は1,726,004千円（前年同四半期は経常損失593,234千円）となり、株式会社ウェッジホールディングスの株式を追加取得し、連結対象子会社としたことによる負ののれん発生益を特別利益に計上したことにより、四半期純利益は2,250,017千円（前年同四半期は四半期純損失596,884千円）となりました。

<省略>

(2) 財政状態の分析

(訂正前)

(資産)<省略>

(負債)<省略>

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は、9,264,863千円（前連結会計年度末比5,971,499千円増）となりました。

純資産増加の主な原因は、四半期純利益計上による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比2,995,227千円増）であります。

<省略>

(訂正後)

(資産)<省略>

(負債)<省略>

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は、9,264,863千円（前連結会計年度末比5,971,499千円増）となりました。

純資産増加の主な原因は、四半期純利益計上による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比2,250,017千円増）であります。

<省略>

(3) キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ914,040千円増加し、1,075,401千円(前年同四半期比826,377千円増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、368,996千円(前年同四半期は337,226千円の減少)となりました。これは、負ののれん発生益の計上1,435,985千円及び貸倒引当金の減少1,624,495千円の減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益3,136,067千円(前年同期は四半期純損失594,352千円)及び営業貸付金の減少252,122千円の増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)<省略>

(財務活動によるキャッシュ・フロー)<省略>

(訂正後)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ914,040千円増加し、1,075,401千円(前年同四半期比826,377千円増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、368,996千円(前年同四半期は337,226千円の減少)となりました。これは、負ののれん発生益の計上690,775千円及び貸倒引当金の減少1,624,495千円の減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益2,390,858千円(前年同期は四半期純損失594,352千円)及び営業貸付金の減少252,122千円の増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)<省略>

(財務活動によるキャッシュ・フロー)<省略>



## 2 事業等のリスクに記載した重要事象等についての分析・検討内容及び当該重要事象等を解消し、又は改善するための対応策

(訂正前)

当社グループは当第2四半期連結累計期間において95,493千円の営業利益、2,995,227千円の四半期純利益を計上したものの、前連結会計年度において547,032千円の営業損失及び3,260,065千円の当期純損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても前連結会計年度まで継続的にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

<省略>

(訂正後)

当社グループは当第2四半期連結累計期間において95,493千円の営業利益、2,250,017千円の四半期純利益を計上したものの、前連結会計年度において547,032千円の営業損失及び3,260,065千円の当期純損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても前連結会計年度まで継続的にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

<省略>

## 第4 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】  
(1) 【四半期連結貸借対照表】  
(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	221,521	1,133,791
受取手形及び売掛金(純額)	1,057,536	1,338,352
営業貸付金	-	5,368,421
有価証券	241,153	2,743
商品及び製品	209,422	298,348
仕掛品	153,225	169,756
原材料及び貯蔵品	95,398	111,272
未収入金	2,681,730	347,099
短期貸付金	350,000	169,944
繰延税金資産	-	115,447
その他	34,244	164,651
貸倒引当金	1,810,801	411,147
流動資産合計	3,233,431	8,808,680
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	62,551	100,436
機械装置及び運搬具(純額)	19,910	48,833
工具、器具及び備品(純額)	2,523	11,695
土地	2,050,894	2,139,411
リース資産	-	3,202
建設仮勘定	0	790
有形固定資産合計	2,135,880	2,304,369
<b>無形固定資産</b>		
のれん	0	321,503
その他	6,464	16,490
無形固定資産合計	6,464	337,994
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	14,341	13,786
関係会社株式	95,251	2,198,334
長期貸付金	10,411	561,541
破産更生債権等	2,559,811	3,010,324
差入保証金	88,611	120,396
繰延税金資産	-	131,348
その他	55,127	522,860
貸倒引当金	2,574,949	3,038,448
投資その他の資産合計	248,606	3,520,144
固定資産合計	2,390,950	6,162,508
資産合計	5,624,382	14,971,189

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	307,502	464,628
短期借入金	-	90,000
1年内返済予定の長期借入金	29,315	1,915,644
1年内償還予定の社債	-	80,000
未払法人税等	10,058	113,809
未払消費税等	18,906	10,277
未払費用	123,845	106,370
賞与引当金	69,600	79,871
その他	256,501	381,210
流動負債合計	815,728	3,241,812
<b>固定負債</b>		
長期借入金	138,730	1,040,307
退職給付引当金	377,040	412,291
資産除去債務	149,017	150,507
再評価に係る繰延税金負債	809,556	809,556
負ののれん	7,196	6,236
その他	33,749	45,612
固定負債合計	1,515,290	2,464,513
負債合計	2,331,018	5,706,326
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	4,036,941	4,036,941
資本剰余金	1,000,627	1,000,627
利益剰余金	2,968,645	26,581
自己株式	23,160	23,197
株主資本合計	2,045,763	5,040,952
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	661	1,405
土地再評価差額金	1,194,296	1,194,296
為替換算調整勘定	6,910	50,434
その他の包括利益累計額合計	1,200,545	1,142,456
新株予約権	9,690	39,423
少数株主持分	37,364	3,042,029
純資産合計	3,293,363	9,264,863
負債純資産合計	5,624,382	14,971,189

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	221,521	1,133,791
受取手形及び売掛金(純額)	1,057,536	1,338,352
営業貸付金	-	5,368,421
有価証券	241,153	2,743
商品及び製品	209,422	298,348
仕掛品	153,225	169,756
原材料及び貯蔵品	95,398	111,272
未収入金	2,681,730	347,099
短期貸付金	350,000	169,944
繰延税金資産	-	115,447
その他	34,244	164,651
貸倒引当金	1,810,801	411,147
<b>流動資産合計</b>	<b>3,233,431</b>	<b>8,808,680</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	62,551	100,436
機械装置及び運搬具(純額)	19,910	48,833
工具、器具及び備品(純額)	2,523	11,695
土地	2,050,894	2,139,411
リース資産	-	3,202
建設仮勘定	0	790
<b>有形固定資産合計</b>	<b>2,135,880</b>	<b>2,304,369</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	0	321,503
その他	6,464	16,490
<b>無形固定資産合計</b>	<b>6,464</b>	<b>337,994</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	14,341	13,786
関係会社株式	95,251	2,198,334
長期貸付金	10,411	561,541
破産更生債権等	2,559,811	3,010,324
差入保証金	88,611	120,396
繰延税金資産	-	131,348
その他	55,127	522,860
貸倒引当金	2,574,949	3,038,448
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>248,606</b>	<b>3,520,144</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>2,390,950</b>	<b>6,162,508</b>
<b>資産合計</b>	<b>5,624,382</b>	<b>14,971,189</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	307,502	464,628
短期借入金	-	90,000
1年内返済予定の長期借入金	29,315	1,915,644
1年内償還予定の社債	-	80,000
未払法人税等	10,058	113,809
未払消費税等	18,906	10,277
未払費用	123,845	106,370
賞与引当金	69,600	79,871
その他	256,501	381,210
流動負債合計	815,728	3,241,812
<b>固定負債</b>		
長期借入金	138,730	1,040,307
退職給付引当金	377,040	412,291
資産除去債務	149,017	150,507
再評価に係る繰延税金負債	809,556	809,556
負ののれん	7,196	6,236
その他	33,749	45,612
固定負債合計	1,515,290	2,464,513
負債合計	2,331,018	5,706,326
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	4,036,941	4,036,941
資本剰余金	1,000,627	1,000,627
利益剰余金	2,968,645	718,628
自己株式	23,160	23,197
株主資本合計	2,045,763	4,295,743
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	661	1,405
土地再評価差額金	1,194,296	1,194,296
為替換算調整勘定	6,910	50,434
その他の包括利益累計額合計	1,200,545	1,142,456
新株予約権	9,690	39,423
少数株主持分	37,364	3,787,239
純資産合計	3,293,363	9,264,863
負債純資産合計	5,624,382	14,971,189

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,656,910	2,676,453
売上原価	1,290,740	1,722,839
売上総利益	366,170	953,613
販売費及び一般管理費	1,593,368	1,858,120
営業利益又は営業損失( )	227,197	95,493
営業外収益		
受取利息	58,104	13,231
受取配当金	2,914	574
有価証券評価益	-	19,721
貸倒引当金戻入額	-	1,675,333
その他	9,308	8,810
営業外収益合計	70,327	1,717,670
営業外費用		
支払利息	3,492	3,680
有価証券売却損	724	-
有価証券評価損	415,322	-
為替差損	-	36,616
訴訟関連費用	10,522	11,630
持分法による投資損失	1,945	18,115
その他	4,356	17,114
営業外費用合計	436,364	87,158
経常利益又は経常損失( )	593,234	1,726,004
特別利益		
固定資産売却益	-	794
持分変動利益	-	2,651
負ののれん発生益	-	1,435,985
特別利益合計	-	1,439,431
特別損失		
投資有価証券売却損	1,117	-
固定資産処分損	0	0
持分変動損失	-	29,368
特別損失合計	1,117	29,368
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	594,352	3,136,067
法人税、住民税及び事業税	3,457	107,484
法人税等調整額	-	37,714
法人税等合計	3,457	69,769
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	597,809	3,066,298
少数株主利益又は少数株主損失( )	925	71,071
四半期純利益又は四半期純損失( )	596,884	2,995,227

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,656,910	2,676,453
売上原価	1,290,740	1,722,839
売上総利益	366,170	953,613
販売費及び一般管理費	1,593,368	1,858,120
営業利益又は営業損失( )	227,197	95,493
営業外収益		
受取利息	58,104	13,231
受取配当金	2,914	574
有価証券評価益	-	19,721
貸倒引当金戻入額	-	1,675,333
その他	9,308	8,810
営業外収益合計	70,327	1,717,670
営業外費用		
支払利息	3,492	3,680
有価証券売却損	724	-
有価証券評価損	415,322	-
為替差損	-	36,616
訴訟関連費用	10,522	11,630
持分法による投資損失	1,945	18,115
その他	4,356	17,114
営業外費用合計	436,364	87,158
経常利益又は経常損失( )	593,234	1,726,004
特別利益		
固定資産売却益	-	794
持分変動利益	-	2,651
負ののれん発生益	-	690,775
特別利益合計	-	694,221
特別損失		
投資有価証券売却損	1,117	-
固定資産処分損	0	0
持分変動損失	-	29,368
特別損失合計	1,117	29,368
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	594,352	2,390,858
法人税、住民税及び事業税	3,457	107,484
法人税等調整額	-	37,714
法人税等合計	3,457	69,769
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	597,809	2,321,088
少数株主利益又は少数株主損失( )	925	71,071
四半期純利益又は四半期純損失( )	596,884	2,250,017

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	597,809	3,066,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	272	744
為替換算調整勘定	3,706	213,938
その他の包括利益合計	3,433	214,683
四半期包括利益	594,375	2,851,615
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	593,821	2,937,138
少数株主に係る四半期包括利益	554	85,522

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	597,809	2,321,088
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	272	744
為替換算調整勘定	3,706	213,938
その他の包括利益合計	3,433	214,683
四半期包括利益	594,375	2,106,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	593,821	2,191,928
少数株主に係る四半期包括利益	554	85,522



(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】  
(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	594,352	3,136,067
減価償却費	24,177	16,353
負ののれん発生益	-	1,435,985
のれん償却額	-	3,214
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,715	1,624,495
退職給付引当金の増減額(は減少)	48,267	35,252
賞与引当金の増減額(は減少)	-	29,696
受取利息及び受取配当金	61,020	13,805
支払利息	3,492	3,680
為替差損益(は益)	-	34,987
持分法による投資損益(は益)	1,945	18,115
有価証券評価損益(は益)	410,983	19,721
有価証券売却損益(は益)	724	-
有形固定資産売却損益(は益)	-	794
投資有価証券売却及び評価損益(は益)	1,118	-
売上債権の増減額(は増加)	104,691	103,139
営業貸付金の増減額(は増加)	-	252,122
たな卸資産の増減額(は増加)	64	23,269
仕入債務の増減額(は減少)	18,682	95,706
その他	21,686	168,967
小計	366,244	560,097
利息及び配当金の受取額	46,859	22,262
利息の支払額	3,145	3,589
法人税等の支払額	14,696	209,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	337,226	368,996
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	1,500
定期預金の払戻による収入	90,000	5,414
有価証券の取得による支出	17,893	-
有価証券の売却による収入	53,904	1,199,920
有形固定資産の取得による支出	65,255	167,281
有形固定資産の売却による収入	-	897
無形固定資産の取得による支出	-	229
外国株式購入預託金の差入による支出	-	37,200
匿名組合出資金の払戻による収入	-	80,000
投資有価証券の取得による支出	187	745,365
投資有価証券の売却による収入	1,455	-
貸付けによる支出	460,000	170,554
貸付金の回収による収入	376,202	401,987
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	314,184
投資活動によるキャッシュ・フロー	21,774	880,273

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	-	1,311
短期借入金の返済による支出	60,000	-
長期借入れによる収入	-	-
長期借入金の返済による支出	17,988	583,908
社債の償還による支出	-	50,000
自己株式の取得による支出	8	38
少数株主からの払込みによる収入	-	322,385
ファイナンス・リース債務の返済による支出	-	495
財務活動によるキャッシュ・フロー	77,996	310,745
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,190	24,484
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	435,806	914,040
現金及び現金同等物の期首残高	684,830	161,361
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,249,024	1,1075,401

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	594,352	2,390,858
減価償却費	24,177	16,353
負ののれん発生益	-	690,775
のれん償却額	-	3,214
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,715	1,624,495
退職給付引当金の増減額(は減少)	48,267	35,252
賞与引当金の増減額(は減少)	-	29,696
受取利息及び受取配当金	61,020	13,805
支払利息	3,492	3,680
為替差損益(は益)	-	34,987
持分法による投資損益(は益)	1,945	18,115
有価証券評価損益(は益)	410,983	19,721
有価証券売却損益(は益)	724	-
有形固定資産売却損益(は益)	-	794
投資有価証券売却及び評価損益(は益)	1,118	-
売上債権の増減額(は増加)	104,691	103,139
営業貸付金の増減額(は増加)	-	252,122
たな卸資産の増減額(は増加)	64	23,269
仕入債務の増減額(は減少)	18,682	95,706
その他	21,686	168,967
小計	366,244	560,097
利息及び配当金の受取額	46,859	22,262
利息の支払額	3,145	3,589
法人税等の支払額	14,696	209,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	337,226	368,996
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	1,500
定期預金の払戻による収入	90,000	5,414
有価証券の取得による支出	17,893	-
有価証券の売却による収入	53,904	1,199,920
有形固定資産の取得による支出	65,255	167,281
有形固定資産の売却による収入	-	897
無形固定資産の取得による支出	-	229
外国株式購入預託金の差入による支出	-	37,200
匿名組合出資金の払戻による収入	-	80,000
投資有価証券の取得による支出	187	745,365
投資有価証券の売却による収入	1,455	-
貸付けによる支出	460,000	170,554
貸付金の回収による収入	376,202	401,987
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	314,184
投資活動によるキャッシュ・フロー	21,774	880,273

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	1,311
短期借入金の返済による支出	60,000	-
長期借入れによる収入	-	-
長期借入金の返済による支出	17,988	583,908
社債の償還による支出	-	50,000
自己株式の取得による支出	8	38
少数株主からの払込みによる収入	-	322,385
ファイナンス・リース債務の返済による支出	-	495
財務活動によるキャッシュ・フロー	77,996	310,745
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,190	24,484
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	435,806	914,040
現金及び現金同等物の期首残高	684,830	161,361
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,249,024	1,075,401

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(訂正前)

1. ~ 3. <省略>

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間において、当社が株式会社ウェッジホールディングスの株式を追加取得し、同社を連結子会社としたことにより、「その他」の区分において、負ののれんが1,435,985千円が発生し、特別利益(負ののれん発生益)に計上いたしました。各報告セグメントには配分しておりません。

(訂正後)

1. ~ 3. <省略>

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間において、当社が株式会社ウェッジホールディングスの株式を追加取得し、同社を連結子会社としたことにより、「その他」の区分において、負ののれんが690,775千円が発生し、特別利益(負ののれん発生益)に計上いたしました。各報告セグメントには配分しておりません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(訂正前)

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( )	12円83銭	64円39銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	596,884	2,995,227
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	596,884	2,995,227
普通株式の期中平均株式数(千株)	46,519	46,518
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		—
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		—
(うち支払利息(税額相当額控除後))		
普通株式増加数(株)		
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	平成21年 ストック・オプションと しての新株予約権 (新株予約権の数9,310個)	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。

(訂正後)

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( )	12円83銭	48円37銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	596,884	2,250,017
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	596,884	2,250,017
普通株式の期中平均株式数(千株)	46,519	46,518
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		48円29銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		3,458
(うち支払利息(税額相当額控除後))		
普通株式増加数(株)		
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	平成21年 ストック・オプションと しての新株予約権 (新株予約権の数9,310個)	

(注) 前第2四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月28日

昭和ホールディングス株式会社

取締役会 御中

監査法人元和

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 塩 野 治 夫 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 中 川 俊 介 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている昭和ホールディングス株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る訂正報告書の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、昭和ホールディングス株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### その他の事項

会社の平成23年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して平成22年11月15日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して平成23年6月24日付けで無限定適正意見を表明している。

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成23年11月14日にレビュー報告書を提出した。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。